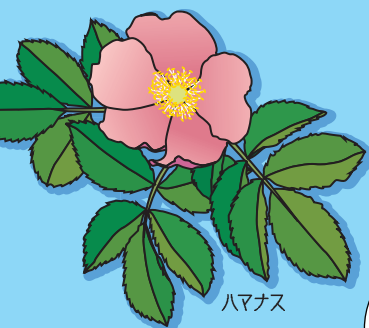
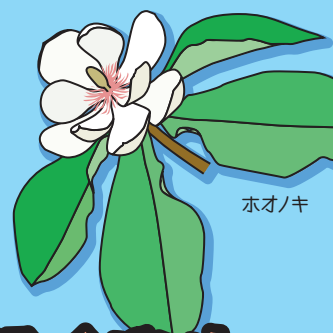


北海道新聞創刊80周年
公益財団法人北海道新聞野生生物基金設立30周年
記念事業



ハマナス



ホオノキ



北海道の花をいっせいに調べるイベント

第6回

北海道フラワースン 2022



エゾスカシユリ



サイハイラン



実施日

2022年

6/18(土)・19(日)

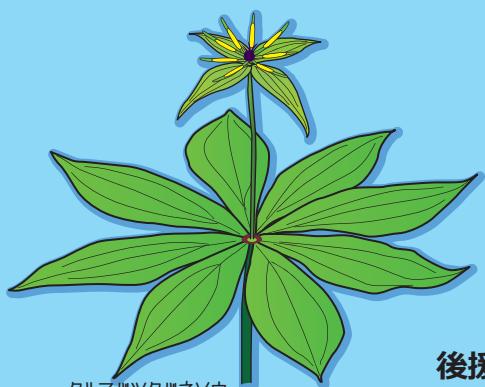
(予備期間:6/20~24)

- 参加無料
- どなたでも参加OK
- 全員に記念品贈呈

申込

4/29 まで

<https://flowerthon.net/>



ククルマバツクバネソウ

主催／北海道新聞社 公益財団法人北海道新聞野生生物基金
後援／北海道文化放送 エフエム北海道 北海道新聞HotMedia 北海道新聞グループ各社

★ “フラーソン”とは

北海道フラーソンは、北海道新聞野生生物基金設立5周年を記念してスタートした「市民が自然を調べる」イベントです。1997年の第1回以降5年ごとに開催し、今回で6回目になります。

「フラーソン」は「フラー・ウオッチング・マラーソン」の略語で、見つけた野鳥の数を競う「バードソン」の“植物版”です。ただし種数を競うことに重点を置くのではなく、活動を通じて環境保護に対する意識を高めるとともに、地域間のつながりを深めることをねらいとしています。

北海道全域を約950の地区に分け、6月18日と19日の2日間、その地区に“どんな花が咲いているか”をグループ単位で調べます。調査の対象となるのは、開花している野生種（帰化植物を含む）すべてです。

調査結果は北海道新聞の紙面で紹介するほか、ニュースレターにまとめ、参加者に配布します。

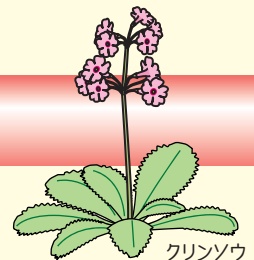
■過去のフラーソン

	第1回 1997年	第2回 2002年	第3回 2007年	第4回 2012年	第5回 2017年
実施日	6月14・15日	6月15・16日	6月16・17日	6月16・17日	6月17・18日
調査地区数	646	521	560	522	534
報告グループ数	473	353	437	428	423
参加者数	約2,400	約1,800	約2,600	約3,100	約3,060
確認開花種数	746	1,089	1,134	1,149	1,122

フラーソンは、1997年以降5年ごとに開催しています。同じ方法で同じ時期に実施しているのが特徴で、毎回北海道の半分以上の地域で調査をしています。

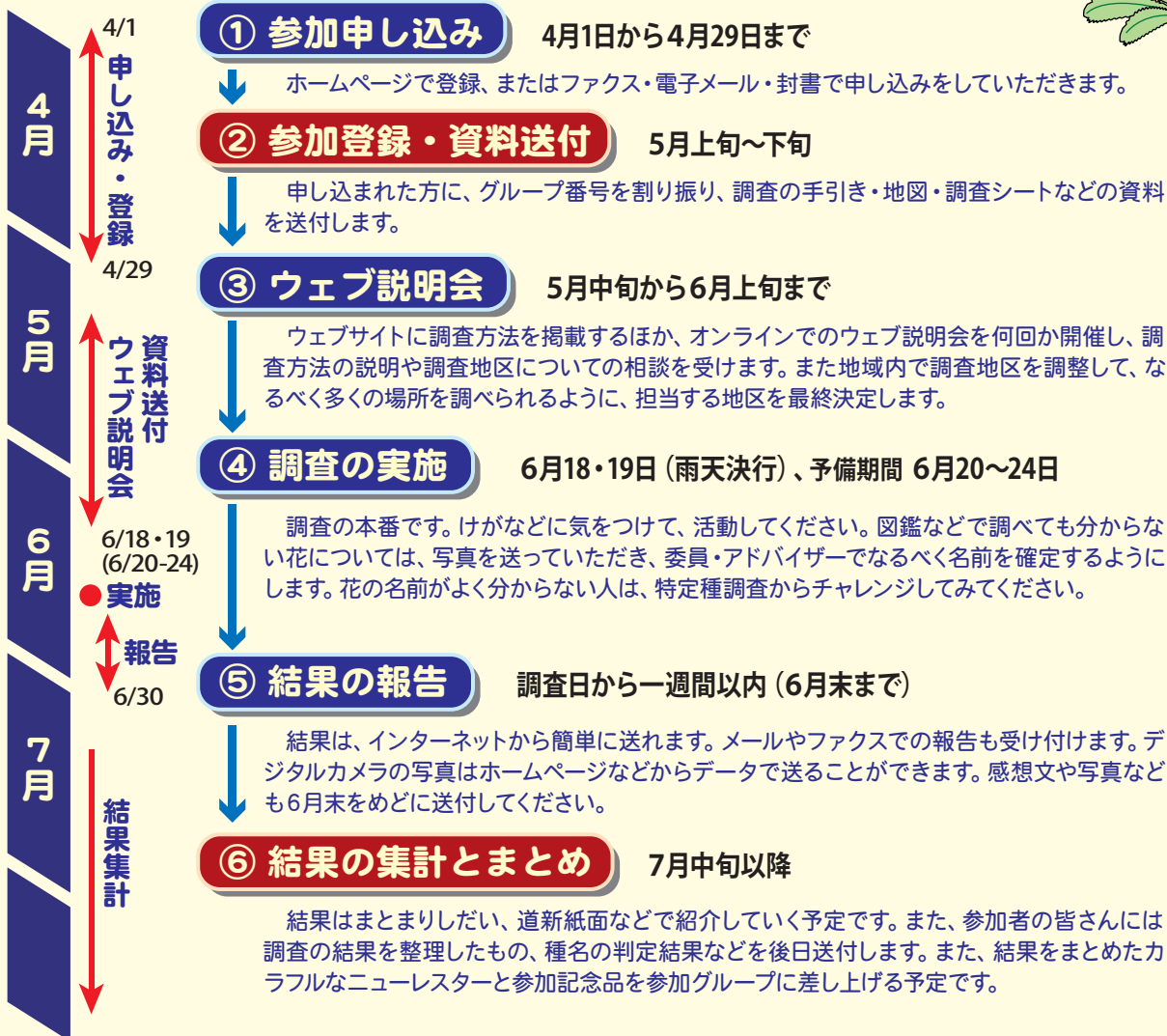


キンリョウソウ



クリンソウ

★参加のスケジュール



★ フラワーソンのポイント

全道で一斉に!!

広い北海道で、同じ日に同時に花を調べるというほかに例のない行事です。「いま、この花がどこで咲いているのか」「どこが一番花が見られるのか」、大勢の仲間とともに、花をさがして歩きましょう。

誰でも簡単に!! 学校単位で参加しよう!

草花が好きな方なら、どなたでも参加できます。身近に見られる花を報告してください。



クサノオウ



ヒオウキアイメ

北海道の自然情報集めに!!

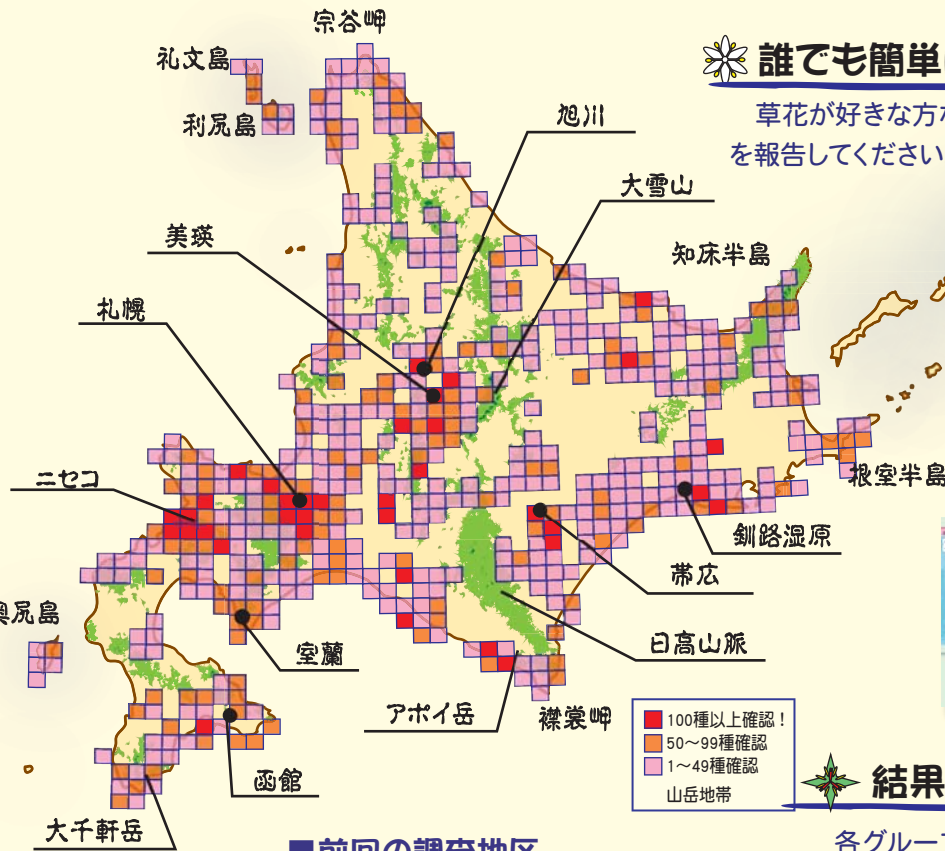
同じ方法で5年ごとに調査することによって、野生植物の現状や環境の変化を把握するのに役立ちます。

ホームページでは
集計結果がすぐに見られる!



結果を記念に、身近な自然を考えよう!!

各グループの結果は記念シートとして整理して返却し、全体の結果はニュースターにまとめられます。身近な自然の現状や大切さについて、考えるきっかけにしてください。

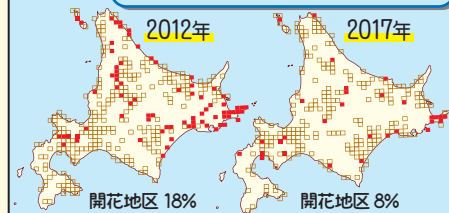


花を訪れるハチやチョウも報告を!!

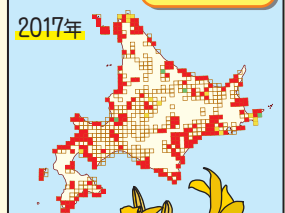
前回に引き続き、ハチやチョウの報告もいただきます。野生植物への悪影響が心配されている外来種セイヨウオオマルハナバチの確認も実施します。ぜひチャレンジしてみてください。



オオバナノエンレイソウの開花変化



ゼンテイカ



これまでの結果の例

春に咲くオオバナノエンレイソウは、季節の進みが早かった2017年には開花場所が根室周辺や高標高地に限られている。ゼンテイカは海岸などの草原に分布している。



ゼンテイカ

★ 調査の方法

- 2022年(令和4年) **6月18日(土)・19日(日)**の2日間に全道一斉に実施します。(休日活動できない団体や悪天候への対応として、**20日以降の5日間**を予備期間とします)
- **一般調査**と**特定種調査**の2タイプの調査を同時に行います。**一般調査**では、担当地区で

- 咲いている花をできるだけ多く記録します。**特定種調査**では、指定された10種類の植物の有無と開花状況を記録します。
- **2万5千分の1地形図**を単位とした約950の地区に北海道を区分し、それぞれの地区ごとに調査します(複数地区可)。

■ 特定種調査シート



- **特定種調査**は、**学校**や**子ども達のグループ**単位で参加しやすい**専用の用紙・ミニ図鑑**も準備します。ホームページ等の活用と合わせて、身近な自然の記録を残せるよう、支援します。

★ 申し込み方法

※募集は2022年4月1日から4月29日までです。

基本的に4~5名程度でグループをつくり、以下の内容をホームページ上からか、メール・ファクス・封書で事務局に送ってください。児童の参加も歓迎しますが、必ず1名以上の保護者も参加してください。

①グループ名

ご自由にお決めください(過去の参加者は同一名を推奨)。ない場合はリーダーの方のお名前がグループ名になります。結果の公表・記録の際にグループ名を用いますので、個人名が出るのが気になるという方は、グループ名を必ずつけてください。

②リーダーとなる方の氏名

③リーダーの方の郵便番号・住所・電話番号・ファクス番号・電子メールアドレス

事務局から連絡するときに使用します。電子メールが基本となりますので、お持ちの方は正確に書いてください。

④参加者全員の氏名・年齢・性別

参加者が未確定のときは、予定参加人数をお知らせください。

⑤希望する調査地名(地名とその市町村名・地図名)

各グループには、居住する市町村周辺か、やってみたい場所を調査してもらいます(複数地区可)。調査したい場所に該当する2万5千分の1の地形図名を書いてください(ホームページでは地図を確認できます)。希望場所は山岳地帯などでも結構です。同一地区に希望が

集中した場合は調整を相談することがあります。地形図名がよく分からない方は地名を詳しく書いて、事務局にお問い合わせ下さい。

⑥前回2017年、それ以前の参加の有無

メンバーのどなたかでも参加していれば、「有」としてください。

⑦参加方法に関する確認事項

実施の参考にするため、以下の事項についても、あらかじめ書いていただくと助かります。

⑦-1.ウェブ会議(Zoom等)への対応の可否

⑦-2.調査地区の調整・追加の可否

⑦-3.ミニ図鑑の希望冊数(基本的に高校生以下には全員差し上げます)

※調査グループとして事務局で登録しましたら、メールでの連絡と資料の送付をします。

※調査データの著作権は北海道新聞野生生物基金が有しますが、広く公開し研究等に活用されるようにします(CC BY 4.0)。

※いただいた個人情報は、フラワーソンの事務作業と結果のとりまとめにのみ使用します。送付いただいた写真は、紙面・ニュースレター・ウェブサイトで使わせていただきます。



■注意事項

調査にともなう交通費や郵送料などは、各グループで負担してください。実施日の簡易野外保険には、一括して事務局で加入しますが、けがやトラブルなどに十分注意してご参加ください。新型コロナウイルス感染対策を考慮して実施する予定ですが、実施時期の感染状況によっては内容の一部変更もありうることをご了承ください。

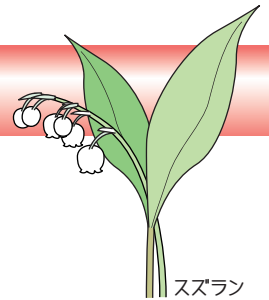
申込先

ホームページ <https://flowerthon.net/> から申込みページへ
ファクス 011-892-5318 メール flower@hokkaido-np.co.jp



ツイッター (@flowerthon)、フェイスブック (<http://www.facebook.com/flowerthon>) でも情報提供中!

★ フラワーソン2022実行委員・地域アドバイザー



●実行委員長 金子正美 (酪農学園大学教授)

●実行委員

大原昌宏 (北海道大学総合博物館副館長)

小川 巖 (エコ・ネットワーク代表)

首藤光太郎 (北海道大学総合博物館助教)

水島末記 (北海道博物館学芸主幹)

渡辺 修 (さっぽろ自然調査館代表)

三浦高広 (北海道新聞野生生物基金事務局長)

●アドバイザー

札幌 丹羽真一 (さっぽろ自然調査館・札幌市)

山崎真実 (札幌市博物館活動センター学芸員・札幌市)

石狩 内藤華子 (いしかり植物ラボ代表・石狩市)

胆振東 野村 仁 (白老町立秋野小学校・白老町)

胆振西 宮尾正大 (むろらん山遊会会長・室蘭市)

函館 木村マサ子 (北海道アウトドアガイド・函館市)

檜山 野村昭英 (厚沢部町)

上川 塩田 惇 (旭川外来植物研究会代表・旭川市)

笠間邦裕 (旭川市北邦野草園学芸員・旭川市)

空知 田崎保明 (北海道自然探索クラブ代表・岩見沢市)

留萌 竹内修五郎 (自然観察指導員・留萌市)

後志 宮崎 守 (百年の森公園管理人・倶知安町)

大表章二 (蘭越自然探検隊代表・蘭越町)

日高 豊川 敏 (日高の森と海を語る会事務局次長・日高町)

十勝 持田 誠 (浦幌町立博物館学芸員・浦幌町)

オホーツク 内田暁友 (北見市)

宗谷 佐藤雅彦 (利尻町立博物館学芸員・利尻町)

宮本誠一郎 (自然公園指導員、自然写真家・礼文町)

嶋崎暁啓 (ポラリス・ネイチャーガイズ&コンサルタンツ・豊富町)

釧路 加藤ゆき恵 (釧路市立博物館学芸員・釧路市)

根室 高田令子 (ニムオロ自然研究会・根室市)

★ お問い合わせ先

☒電子メール flower@hokkaido-np.co.jp (お電話での問い合わせは、平日10:00~17:00にお願いいたします)

フラワーソン事務局 (さっぽろ自然調査館内)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45山岸ビル
☎電話 011 (892) 5306 ☎ファクス 011 (892) 5318

公益財団法人北海道新聞野生生物基金

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
☎電話 011 (210) 5773 ☎ファクス 011 (210) 5774